

プレゼミナールの進め方

1. テキスト

必要に応じて、プリントを配付。教科書として、特に購入する必要はなし。

2. スケジュール

05月13日 第1回 顔合わせ、今後のスケジュールの説明、1ヶ月間の学生生活を振り返って

05月20日 第2回 大学の施設、学部・専攻の紹介

→図書館とLLCの見学、インターネットによる文献検索（専攻全体での参加）

※図書館やインターネットの利用に関する資料を配付（05/13のうちに）

05月27日 第3回 大学で学ぶことの意味、大学の授業スタイル、大学と実社会

①現在自分が履修している科目のノートをいくつかを持参する。

参考）文藝春秋『東大合格生のノートは必ず美しい』特設サイト

http://www.bunshun.co.jp/toudai_note/index.html

→「ノートの取り方」をインターネットで検索して調べてみよう。

②キャリア形成論で配布されたキャリアフォリオを持参する。

→10年後、20年後、30年後の自分の姿を考え、発表する。

※ノートの取り方・講義を受けるにあたっての注意などに関する資料、建築業界に関する資料を配付+学習テーマの選び方に関する資料（次回までの宿題）も配布

06月03日 第4回 学習テーマの決定

→3週間で取り組もうとする学習テーマ候補から、実際に取り組む学習テーマを決定する。

→05月27日に配付されたテーマの選び方に関する資料を参考にして、最低3つは自分で取り組んでみたいと思うテーマ候補を考える。また、それぞれのテーマ候補について、どうして（なぜ）そのようなテーマ候補を選んだのか、も1人5分程度の持ち時間で発表（説明）する。A4版1～2枚程度の配付資料を準備する。

→配付資料を印刷して欲しい場合は、金曜日（05/31）の16:00までに岡本助手に提出する。

間に合わない場合は、各自で必要部数（学生5人+教員1人=6部）を準備する。

※レポートの書き方に関する資料（次回までの宿題）を配付

06月10日 第5回 レポート作成中間報告

→06月03日に決めた学習テーマでは、具体的にどんなことをどんな方法で調べて内容を深めていくか、を1人10分程度の持ち時間で発表（説明）する。少しでもよいので実際に調べ始めて、その内容もあわせて発表する方が望ましい。

→どんな章立てにしてレポートを作成するのか。どこで調べるのかを考える。その際、できるだけインターネットのホームページは使用しない。A4版1～2枚程度の配付資料を準備する。

→配付資料を印刷して欲しい場合は、金曜日（06/07）の16:00までに岡本助手に提出する。間に合わない場合は、各自で必要部数（学生5人＋教員1人＝6部）を準備する。

※プレゼンテーションの方法に関する資料（次回、次々回までの宿題）を配付

06月17日 第6回 レポート案の提出

→06月03日に配付されたレポートの書き方に関する資料を参考にして、レポートの第一案を作成する。さらに、レポートの第一案をもとに、1人10分程度の持ち時間で内容を説明する。発表の際には、レポート第一案の本体を皆に配布する。

→レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。

→配付資料を印刷して欲しい場合は、金曜日（06/14）の16:00までに岡本助手に提出する。間に合わない場合は、各自で必要部数（学生5人＋教員1人＝6部）を準備する。

06月24日 第7回 レポート提出、発表

→06月17日に出された意見や助言を参考にして、最終レポートを作成する。さらに、06月10日に配布されたプレゼンテーションに関する資料を参考にして、レポートの内容を1人10分程度の持ち時間で内容を発表する。発表の際には、レポート本体とは別に発表用配付資料（A4版1～2枚程度）を作成する。

→レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。

→発表は、パワーポイントを使ってもよい。

→最終レポートの本体は、辻原のみに提出すればよい。

→配付資料を印刷して欲しい場合は、金曜日（06/22）の16:00までに岡本助手に提出する。間に合わない場合は、各自で必要部数（学生5人＋教員1人＝6部）を準備する。

3. 参考図書（順に，書名，編著者名，発行所，発行年月，本体価格，ISBN番号，熊本県立大学
学術情報メディアセンター図書館所蔵情報（〔 〕内。））

- [1] 『大学生入門 3訂版』（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2009年3月，1,300円＋税，
ISBN：978-4-7907-1394-4）〔和書（2F），377.9||Ta 33, 0000323285〕
→初版（2001年6月，ISBN:978-4-7907-0881-0）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000249269〕，
改訂版（2006年2月，ISBN:978-4-7907-1167-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000300324〕
もあり。
- [2] 『スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 大学で学ぶための25のスキル』（吉原恵
子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年10月，1,200円＋税，ISBN：
978-4-407-34061-7）〔就活・レポート（1F），377.15||Y 87, 0000379748〕
→初版（2011年6月，ISBN:978-4-407-32243-9）〔就活・レポート（1F），377.15||Y 87,
0000342518〕
- [3] 『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第2版』（佐藤望編著，湯
川武・横山千晶・近藤明彦，慶應義塾大学出版会，2012年9月，1,000円＋税，ISBN：
978-4-7664-1960-3）〔就活・レポート（1F），377.15||Sa 85, 0000352556〕
→初版（2006年10月，ISBN：4-7664-1324-5）〔和書（2F），377.15||Sa 85, 0000304262〕
もあり。
- [4] 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』（北尾謙治ほか，ひつじ書房，2005年5
月，1,600円＋税，ISBN：4-89476-242-0）〔和書（2F），377.15||Ki 71, 0000293704〕

4. 担当者

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-383-2929（内線492），096-321-6706（直通）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研究室））

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp